2017年9月17日~23日 神戸大学附属中等教育学校

- 1. 震災・復興とリスクマネジメント()
- 2. 国際都市神戸と世界の文化()
- 3. 提言:国際紛争・対立から平和・協調へ()
- 4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸(O)
- 5. その他 ()

[概要]

第5回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム(APGN5th)に参加しました (中国貴州省,織金世界ユネスコジオパーク)

1. テーマ

神戸大学附属中等教育学校 SGH「グローバルサイエンスと拠点都市神戸」

- 2. 目的
 - ① 本校のこれまでの GEP におけるフィールドワーク活動やジオパークに係る研究を紹介するとともに、山陰海岸ジオパークの取り組み等を学ぶ
 - ② 山陰海岸ジオパークのフィールドワークを通して、神戸と山陰海岸における気候・風土・歴史の違いを学ぶ。特に地形・地質学的視点を養う。
 - ③ 山陰海岸ジオパークの貴重な様々な資源について学ぶことを通して、地元「神戸」に対する郷土愛や誇りを醸成する。

3.行程

9月17、18、23日	9月19、20、22	9月21日
移動、市街散策	APGN シンポジウム参加	織金洞、織金大渓谷見学

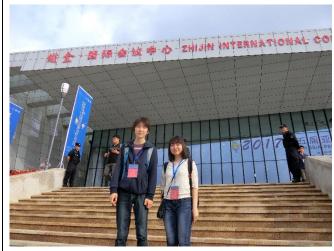
4.活動の様子







市街散策



会場到着



オープニングセレモニー



発表



質問者との交流







織金洞博物館見学

織金洞見学

織金大渓谷見学







海外の方との交流

発表に関する交渉(データ差し替え)

発表準備

5.参加生徒の所感

 $(K < \lambda)$

私は、今回の中国でのAPGNシンポジウムの参加で学べたことがとても多くありました。まず学んだことは、中国の会場周辺の地形についてです。この辺りは石灰岩が削られることによって形作られるカルスト地形など、日本では見ることのできないスケールの大きな大地や、珍しい地形をたくさん観察することができました。また食事や町の雰囲気、スタッフの方々などから中国と日本の文化の違いやルール、マナーについての相違点を見つけることもでき、勉強になりました。他にも、見学した織金洞というジオパークでも、スケールの大きさや世界的にも珍しい地形の数々など、ジオパーク学習としても貴重な体験ができました。

また、会場内で多くの外国の方々と英語で交流することや、国際的な場で自分たちの活動について発表をしたことは、自分にとっても貴重な体験であるし、この活動を世界の方々に知ってもらい活動の幅を広げられる良いチャンスになりました。

この経験を活かし、これからの学校生活をより良くしたり、ジオパークの活動に積極的に参加していきたいです。

(T さん)

今回、この活動に参加して、主に、4のことを学ぶことができました。それは、中国の文化について・中国の地形について・ジオパークについての新しい知識・英語でのコミュニケーションについてです。まず、1目の中国の文化については、中国の方にとっては、APGNは一大イベントであり、この地域がもともと貧困地域だったこともあり、街自体がそのために変わっており、多くの現地の方に影響を与えていることが分かりました。2つ目の中国の地形については、石灰岩によって形成された日本では見ることができないない地形について学ぶことができました。実際に織金ジオパークへ行き中国の自然の壮大さを間近で感じることができました。3つ目のジオパークについての新しい知識については、ほかの方のプレゼンテーションを聞くことや質問などをしていく中で、今まで知らなかった知識や新しい考えを得ることができました。4つ目の英語でのコミュニケーションについては、今までは自信のなかった英語でのコミュニケーションを積極的にできたことが成果であり、これは、今後のグローバル活動においてとても良い経験となりました。このように、今回の活動では多くのことを学ぶことができ、様々な方と、関わることで新しい視点を持つことができました。なので、今後の活動にも活かしていき、学校でのジオパーク活動をより多くの生徒に届けられるものにしていきたいと思います。